

次期総合5か年計画に対する御意見

お名前 小林りん

1 計画の基本的な考え方について

資料1、**資料2**のⅠ～Ⅳ ※修正すべき表現など

全体的に大変よくまとまっており、意欲的な内容だと感じました。

- 「学びと自治の力で拓く新時代」というサブタイトルは、本タイトル「確かな暮らしが営まれる美しい信州」がもつ、若干保守的で堅実なイメージをうまく補完する、未来志向で、意志を感じる表現だと思います。
- 資料2の11ページの「学びの県」の課題意識が、抽象的な気はしました。前段の時代認識の議論を踏まえて、以下のようにするのはいかがでしょうか。
 - ▶ 人口減少下にあつて、経済・社会の活力を保つためには、学ぶことによって一人ひとりが個々の能力を高め、それを最大限に発揮できるような、多様な価値観が認められる社会を構築する必要がある。
 - ▶ 急激に変化する社会の中で、必要とされる資質も変化していることを念頭に、幼児教育から社会人教育まで、教育の目的を明確にし、従来のやり方や考え方に捉われないことなく、教育のあり方を変革していく必要がある。
- 資料2の11ページの「人をひきつける快適な県」は、「人をひきつける」と「快適な」という言葉が並ぶと少しインパクトが足りないように感じます。今だけが便利で快適なだけでなく、これから訪れるであろう新しいライフスタイルにつながるというようなことを想起させる表現も検討したらいかがでしょうか。
- 資料2の13ページですが、もし可能であれば教員改革にも言及できないでしょうか。
 - ▶ ・生きる力と創造性を育む学校教育 ・**教員が誇りを持ち創造性を発揮できる学校現場へ**（全体のバランスを考え抽象的な表現にしてみました）・幼児教育の総合的な支援 ・自然・野外教育の充実 ・地域に立脚し世界に翔く高等教育 ・産業を担う人材の育成 ・世代を超えた学びの場の構築 など

2 答申後に、県当局が政策を具体化する際の留意点について

資料2のⅤ、**資料3** ※追加すべき事項など

4「計画を着実に推進できるよう、客観的でわかりやすい達成目標を設定し、毎年度進捗管理を行うとともに、必要に応じて随時見直しを行うこと。」は重要なポイントだと思います。ここで謳っていることが、具体的には何を意味するのかを、わかりやすい指標に落とし込めるかが政策実現への鍵を握っていると思います。特に教育分野においては指標の置き方が非常に難しいため、ぜひ各関連部局の皆様でご議論を深めて頂きたいです。

3 その他

最終回到欠席で申し訳ございません。この間、大変お世話になりありがとうございました。